

2017年10月16日
ダイハツディーゼル株式会社

船用発電機用機関 IMO NOx 3次規制対応 SCR システムの初号機を出荷

当社はこの度、2017年10月11日にIMO(国際海事機関)のNOx 第3次規制に対応した排気ガス中の窒素酸化物排出量を低減する後処理装置(選択触媒還元法脱硝装置)「以下、SCR装置」を商用初号機として造船所向けに出荷いたしました。

IMO NOx 第3次規制は第1次規制に対して排出率80%削減を義務付けた規制です。2013年3月よりSCR装置をコンテナ船に試験搭載してトータル約4,000時間のSCR装置運転を実施し、第3次規制値を満足する事を実証したのは勿論、高い信頼性・耐久性を備えたSCR装置となっております。

当社のSCR装置はスキームA方式(エンジンとSCR装置を結合した状態でNOx鑑定試験を受験する)で予め船級承認されたシステムを提供しております。

今回出荷した発電機用機関とSCR装置は造船所に納入され、2018年夏に就航される予定です。

また、当社SCR装置は現在40台超の受注を頂いておりますが、今後とも確実な需要増加を見込んでおります。

〔お問い合わせ先〕

管理統括部 水科 TEL: 06 - 6454 - 2331

以上